

経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県西吾妻福祉病院組合（事業会計分） 西吾妻福祉病院

法適用区分	集地名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者（利用料金制）	10	対象	ド訓	救へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	9,903	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
74	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	74
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
74	-	74

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の病院・ネットワークをきむ）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	平成15
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

西吾妻地域は人口減少、少子高齢化が進んでいるほか、地形的な要因によって山地に居住地が散在している。このような地域での医療を当病院が担っている。併せて地域から求められる医療機能は「救急医療」であり、当病院は地域との連携のもと、不採算事業を行っている。また、24時間365日体制を維持し、住民にとって安心を提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

今年度、①経常収支比率は類似病院平均値を下回っている。原因としては、新型コロナウイルス関連の補助金が廃止となったためである。②医業収支比率は類似病院平均値を上回っているが、医業収益の増加率（4.0%）が医業費用の増加率（0.4%）を上回ったためである。主な原因としては、入院診療収益の増加率が5%であったためである。③修正医業収支比率は、類似病院平均値を上回っている。取組としては、医業収益に計上される地金計負担金額の割合が少額のためである。④病床利用率は、類似病院平均値を上回っている。原因としては、近隣病院が入院型診療停止をしたことにより患者数が上乗せしたためである。⑤入院患者1人1日当たりの収益は類似病院平均値を上回っている。取組としては、令和5年度より脳神経外科関連の救急診療を経験した患者を算入したことにより、総額の増加が期待されたためと考えられる。⑥外来患者1人1日当たりの収益は類似病院平均値を上回っている。原因としては、令和5年度より脳神経外科関連の救急診療を経験した患者を算入したことにより、総額の増加が期待されたためと考えられる。⑦職員給与費対医業収益比率は類似病院平均値を上回っている。これはベテラン職員の増加によるものであるが、人員配置の最適化が必要であると考える。⑧材料費対医業収益比率は類似病院平均値を下回っており、指定管理者による業務改善等の取組が進んでいると考える。⑨累積欠損金比率は、類似病院平均値を下回っており、累積欠損金の解消理由は、新型コロナウイルス関連の補助金と思われる。

2. 老朽化の状況について

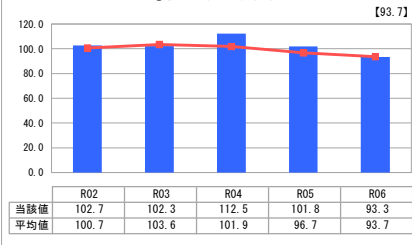
①有形固定資産減価償却率は、類似病院の平均値を上回っており、さらに前年度比4.8%減少している。原因としては、大規模修繕として病院施設更新工事等で3億5千万円使用したためである。②器械備品減価償却率は、類似病院平均値を上回っており、老朽化が進んできているため計画の機器の更新を検討する必要がある。③1床当たり有形固定資産については類似病院平均値を上回っている。原因としては令和元年度に療養病床を廃止し111床から74床に減少しているためである。

全体総括

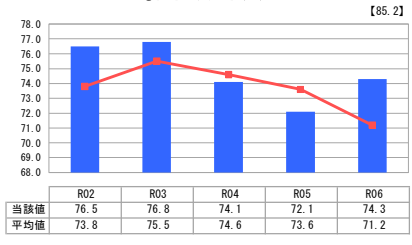
当院では、救急医療などの不採算事業を行っているため、経常収支比率も今年度は100%を切る状況である。したがって、今後、人口減少・少子高齢化が進む中、少しでも100%に近づけるため新公立病院改革プランにおいて設定した経費削減・抑制対策・収入増加・確保対策等の取組を実践していく必要がある。経費削減・抑制対策として、指定管理者による業務改善に関する運営会議の実施等、職員全体へコスト削減の意識づけを行う。また、収入増加・確保対策においても運営対策委員会及び広報接遇委員会を継続的にを行い、構成町村に周知し、病床利用率を高め、新患者数増加を図る等である。いずれにしても、行政と指定管理者が一体となり安定経営に向けて努力することが肝要である。

1. 経営の健全性・効率性

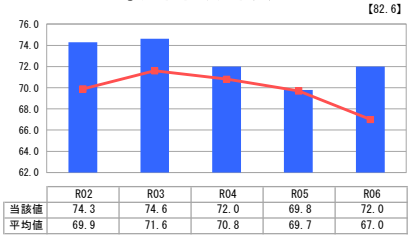
①経常収支比率(%)



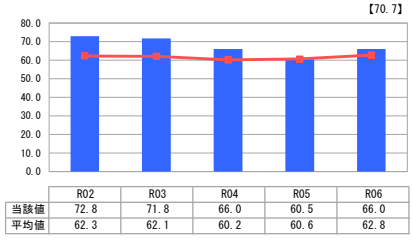
②医業収支比率(%)



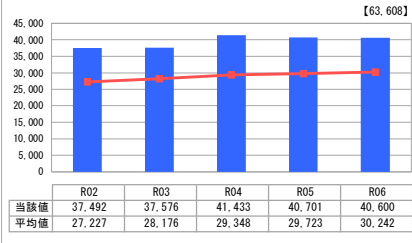
③修正医業収支比率(%)



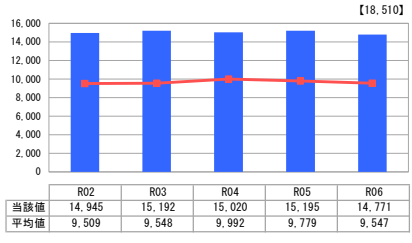
④病床利用率(%)



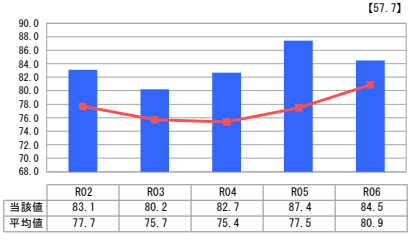
⑤入院患者1人1日当たり収益(円)



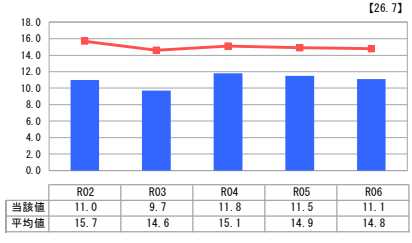
⑥外来患者1人1日当たり収益(円)



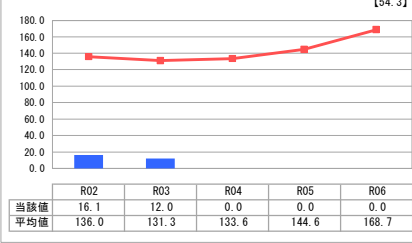
⑦職員給与費対医業収益比率(%)



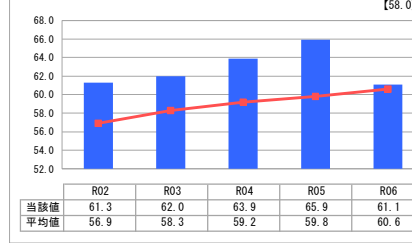
⑧材料費対医業収益比率(%)



⑨累積欠損金比率(%)

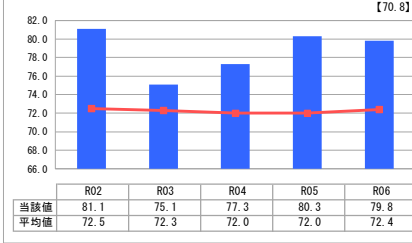


①有形固定資産減価償却率(%)

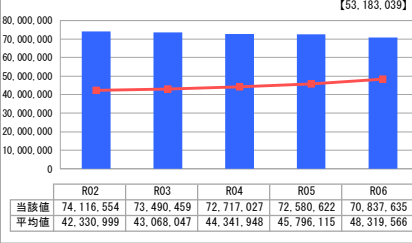


2. 老朽化の状況

②器械備品減価償却率(%)



③1床当たり有形固定資産(円)



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。